第50回男子・第42回女子全日本教員バスケットボール選手権大会 (第68回国民体育大会バスケットボール競技リハーサル大会)

男子2回戦

みどりクラブA 64

10 - 21 13 - 23 13 - 26

93 福島教員A

主審 長尾 繁徳 副審 細田 知宏

(兵庫県) ●

28 — 23

〇 (福島県)

No. 12F4 日時: 2012年8月12日(日) 15:00 会場: 西東京市総合体育館



みどりクラブA

No.		選	手	氏	名		得点	3P	2P	FT	F	
4		戸	屋	龍	介		-	_	_	_	-	
5	*	片	上	健え	太郎	(C)	7	0	3	1	3	
0	*	米	田	裕	昭		2	0	1	0	1	
1	*	常	盤	将	宏		10	1	3	1	2	
14	*	中	安	和	生		23	3	4	6		
21		坂	本	賢	翼		3	1	0	0	1	
23		小	野		翼		_	-	-	-	-	
24	*	梶	木	輝	久		11	0	5	1	2	
38		宮	倉	京	亮		0	0	0	0	2	
41		前	Ш	朋	寛		6	0	2	2	1	
44		星	野	圭	祐		_	-	-	-	-	
77		正	垣	大	地		2	0	1	0	0	
	ーチ	法才	注	俊力	î							$\overline{}$
						合計	64	5	19	11	12	-

福島教員A

田岡秋吳八													
No.		選	手	氏	名		得点	3P	2P	FT	F		
4	*	香	野		学	(C)	19	3	4	2	2		
5		星		謙	_		8	0	3	2	0		
6	*	遠	藤	修	治		10	0	4	2	2		
7	*	遠	藤	心	平		16	2	5	0	1		
8	*	河	西	孝	浩		4	0	2	0	2		
9		臣	П	尚	之		2	0	1	0	0		
10		臣	田	拓	也		11	1	3	2	1		
11		高	橋	智	大		2	0	1	0	2		
12		円	谷	元	康		7	1	1	2	0		
13		加	藤	淳	也		0	0	0	0	3		
14	*	五十	-嵐	敦	至		10	0	5	0	2		
15		尾	形	亮	祐		0	0	0	0	0		
16		八	巻	智	洋		2	0	1	0	3		
17		青	木	祐	輔		2	0	1	0	0		
18		尾	形	徳	洋		0	0	0	0	0		
П	ーチ	佐蔣	新	Ы則									/
						合計	93	7	31	10	18		

*…スターター (C)…キャプテン 3P…3点シュート 2P…2点シュート FT…フリースロー F…ファウル

戦 評

前年度準優勝、福島教員Aの初戦。1回戦を勝ち上がってきたみどりクラブA(兵庫)はどのように戦うか。

第1ビリオド、先制は福島。#7遠藤(心)のジャンプシュート、3Pシュートと連続して得点をあげる。ディフェンスは両チームともハーフコートマンツーマン。互いに堅い守りで相手に簡単なシュートを打たせない。序盤、流れを掴んだのは福島。#4香野の連続3Pシュートでリードする。対する兵庫は、#24梶木が力強いポストプレイで得点を重ねる。残り2分、福島#11高橋がレイアップシュートを決め、福島のリードが9点に広がったところで、兵庫タイムアウト。その後も福島はディフェンスを集中し兵庫に点数を許さず、21 – 10、福島リードで第1ピリオド終了。

第2ピリオド、第1ピリオド同様、お互いに整備されたディフェンスで簡単に点数を許さない。兵庫が#14中安の1on1で徐々に点差を縮めるが、福島は相手のシュートミスに乗じて一気に走る。残り6分、福島の速攻が決まったところで兵庫たまらずタイムアウト。点差は12点差。しかしタイムアウト明け、福島#12円谷・#4の3Pシュートが決まり、福島の勢いは止まらない。更に福島は、#7が気迫あふれるプレイでルーズボールを追い、チームを活気づける。終了間際にも、#12のスティールから速攻を決め、44-23とリードを広げ、第2ピリオド終了。

第3ピリオド、お互い一進一退の攻防が続く。序盤は兵庫も#5片上のミドルシュートなどで点数を重ねたが、福島の厳しいディフェンスに徐々に攻め手を欠き、残り5分、兵庫タイムアウト。 兵庫はなんとか状況を打開しようと、ディフェンスをオールコートマンツーマンスに徐々に攻めまる。 それでは 冷れに変わらず、70、20、75 東京 ナール・スタック・フェンスをオールコートマンツーマ

ンにチェンジさせる。それでも流れは変わらず、70〜36、福島大量リードで第3ピリオド終了。 第4ピリオド、兵庫は#41前川が力強いゴール下シュートを決めるなど、最後まで諦めず奮闘する。けれども福島は控えのメンバーもディフェンスをがんばり、点差は縮まらない。結果、93〜64で福島が兵庫を圧倒し、勝利する。最後まであきらめない姿勢をみせる兵庫に会場からは常に応援の声が絶えなかった。福島は上背こそはないが、#14五十嵐・#6遠藤(修)など、ゴール下で献身的なプレイでチームを引っ張るメンバーがおり、1位を奪還しようとする気迫あふれるプレイが光った。

記載者 川越 理 (所属)男子高体連